



ちょっと変わったことをする、 すごく真面目なベンチャー企業 ～IT×介護レクリエーション～

「IT」×「介護レクリエーション」

BCC株式会社は、IT営業をサポートする「マーケティング事業」と介護レクリエーションで介護を支えるヘルスケア事業を展開する会社。もともと大手IT企業に営業力を提供する「営業アウトソーシング事業（営業派遣）」と、中堅中小企業に最適なITサービスを提供する「ITソリューション事業」を主な事業としていたが、2012年にスマイル・プラス株式会社をグループに迎え、全国に2万6千人を超えるレクリエーション介護士の資格制度をスタートし、「介護レクの代行サービスの提供」や「飲食や化粧品メーカーなど様々な業種の事業会社と連携して、介護現場の改善」に取り組むなど、ヘルスケア業界へ事業を拡大。

市場ニーズを先んじて捉えた新しいビジネス展開により、2013年以降6期連続増収を達成するなど、IT業界と介護現場を“人”で支え、様々な世界に新しい風を入れている。

今後はIT・介護の両分野で培ったノウハウを生かし、介護現場へのIoT・ロボット導入促進、シニア世代へ向けた介護予防・認知症予防的活動アプローチへとマーケット領域を拡大させていく方針。

レクリエーション介護士による多様な働き方

株式会社よしもとクリエイティブ・エージェンシー所属タレントのあるある探検隊でおなじみの「レギュラー」が同社運用のレクリエーション介護士2級を取得。本年4月より「お笑い×介護レク」で介護レク代行サービスを開始したところ、全国からの依頼が殺到。

主婦、芸人など職業、性別を問わず、多様な働き方を提供するきっかけにもなっている。

子連れ出勤にとどまらず・・・

163名の従業員のうち約7割を女性が占める。

それは、かつて人手不足に悩んだ頃、1日1～2時間だけの勤務も可能とし、女性社員採用に舵を切ったところ、毎月5～6名程を採用できるようになり、結果として、産休・育休制度の整備など労働環境の充実にも繋がった。

今では、子育て世代の社員で残業が必要になった場合、保育園へ迎えに行った後、会社に戻ってくるケースもあるが、「子連れ出勤」を可能とし、子どもの面倒を上司が見るなど「仕事と家庭の両立」に力を入れている。（例：上司がおもちゃ作りをして子どもと遊んでいる。）

訪問：令和元年5月17日